

千葉大学医学部附属病院で ICD 交換術を施行された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年10月31日

循環器内科

循環器内科では、植込み型除細動器の心臓突然死の1次予防効果についての検討に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2010年4月1日～2024年7月31日の間に当院でICD交換術を施行された方

1. 研究課題名

「植込み型除細動器の心臓突然死の1次予防効果についての検討」

2. 研究期間

2024年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

植込み型除細動器(ICD)は、心臓突然死の予防に重要な役割を果たすことが示されています。しかし、植え込み後に適切作動が必要な致死的不整脈を認めないことは珍しくありません。また、ICD植込み後に全く適切作動を認めず経過した方において、交換の必要性について検討した報告は少ないです。ICD交換時に致死的不整脈のリスクを患者毎に慎重に評価することが重要かと考えられ、ICDを植込みされた方々の中で、心臓突然死の一次予防効果について検討する研究を行っております。2010年4月1日より2024年7月31日までの患者情報を抽出し解析を行います。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、既往歴、併用薬、内服歴

生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果

I C Dチェックデータより波高値、閾値、電池残量、作動回数

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：千葉大学医学部附属病院 循環器内科 准教授 近藤 祐介

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院循環器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

循環器内科 医員 吉野 裕

准教授 近藤 祐介

043（222）7171 内線 72223